

平成23年度地域密着型金融の取組状況について(要約)

平成23年4月～平成24年3月

空知商工信用組合

I. 地域密着型金融の取組状況について(要約)

(平成23年4月～平成24年3月)

当組合の地域密着型金融の取組みは、1.「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、2.「地域の面的再生への積極的な参画」、3.「地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信」であり、平成23年4月から平成24年3月までの取組状況は次の通りとなっております。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業・新事業支援

- ・ 各種セミナーの参加を通じ創業・新事業支援のノウハウ等の習得に努めました。
- ・ 今後については、各種セミナー等に積極的に参加し、ノウハウの習得、支援態勢の強化を図ってまいります。

(2) 経営改善支援

- ・ 経営改善指導によるランクアップを目論見、対象先20先を選定し相談・経営管理・経営指導を継続しましたが、目標5先に対しランクアップとなる先がありませんでした。
- ・ 北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資についても実行はありませんでした。
- ・ 本部職員が営業店へ臨店し、職員のスキルアップ向上に努めました。
- ・ 今後も引続き臨店指導の強化によって職員のスキルアップを図り経営改善指導を行ってまいります。

(3) 事業再生支援

- ・ 営業店臨店及び各種関連セミナーの参加及び研修会の実施を通じ、職員のレベルアップを図りました。
- ・ 中小企業支援ネットワーク強化事業を活用し、コンサルティング機能を発揮しました。
- ・ 今後も継続して関連セミナー参加及び研修会等を通じ、更なるスキルアップや情報収集を行い、事業再生に取り組んでまいります。

(4) 事業承継支援

- ・ セミナーの参加、広報冊子、上部団体からの情報収集を通じ事業承継のノウハウ習得に努めました。
- ・ 今後も各種セミナーの参加及び上部団体からの情報収集を行いノウハウ習得に努めてまいります。

(5) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

- ・ 平成23年度の流動資産担保融資の取扱いはありませんでした。
- ・ 今後も不動産担保・個人保証に依存しない融資を推進してまいります。

(6)「目利き機能」の発揮に向けた取組み

- ・ 銀行業務検定試験、外部研修、組合内研修、信用格付システムを通じ、事業価値評価のレベル向上に努めました。
- ・ 今後も通信教育・研修・検定試験等により中小企業に適した資金供給を行うための目利き能力の向上に努めます。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 成長分野の育成や産業集積による高付加価値化などの地域の面的再生に向けた取組みへの積極的な参画

- ・ 地域行事等に継続的に参加・協力し、地域の活性化に努めました。
- ・ 地域活性化を図る為、地域行事等へは今後も積極的に参加してまいります。
- ・ 今後もより一層の中小企業支援ネットワーク強化事業の活用を図ってまいります。

3. 地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信

(1) 顧客・組合の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)

- ・ 平成22年度のアンケートに基づき、「接客」および「ATMの機能強化」、「広告媒体の充実化」について改善を図りました。
- ・ 今後も業務改善を行い、接客の改善や環境の整備に努めます。

(2) 地域貢献等に関する情報開示

- ・ ホームページやディスクロージャーにおいて顧客の目線に立った情報開示に努め、開示についても内容の充実を図りました。
- ・ 今度も更なる分かりやすい情報の開示に努めます。

II. 報告資料

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 地域密着型金融個別の取組結果(要約) | 別紙のとおり。 |
| 2. 経営改善支援等に関する取組実績 | 別紙のとおり。 |
| 3. 経営改善支援実績表 | 別紙のとおり。 |

II-1. 地域密着型金融個別の取組結果（要約）

項 目	取 組 方 針	平成23年4月～平成24年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮			
(1) 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議等の参加を通じ、情報収集及びノウハウの習得を図る 中小企業支援センター等の情報を活用し、新規開業等の相談機能等に活用する 信用保証協会の「創業関連保証制度」(再挑戦支援保証を含む)及び公的制度を活用し、創業・新事業への支援を図る しんくみネットを活用したビジネスマッチングによる支援 地公体と連携し、商品化支援や補助金制度の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議への参加 中小企業向け経営懇談会等の情報収集と情報提供 各種制度の活用による創業・新事業への支援 	<p>セミナーへの参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年11月 6次産業経営力向上セミナー参加 平成24年2月 ビジネス交流会『TPP協定の分野別の影響などについて』参加 平成24年3月 新しい公共と地域金融の連携セミナー参加 平成24年3月 地域密着型金融シンポジウム参加 <p>各種制度の活用による創業・新事業への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の制度資金である事業活性化資金創業貸付を活用し、創業・新事業への支援を図りました。(平成23年度1件3百万円)
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> 企業再生支援相談課を中心にランクアップ対象企業(財務上問題、事業の将来性の見通し、再生の実現性が高い企業)を選定し、本部・営業店が一体となって相談・経営管理、経営改善指導を行う 保証協会のランクアップ保証を活用し、経営改善を図る 経営改善計画の策定を支援し、モニタリングおよび経営改善指導等のフォローアップを行う 条件変更の申出に対する真摯な対応を行う 中小企業支援ネットワーク強化事業を活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 経営相談・経営管理・経営指導及びランクアップ。(対象先20先選定、ランクアップ先5先) ランクアップ保証、再生支援資金等による事業再生(取扱目標3先)。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善指導によるランクアップを目論見、対象先20先を選定し相談・経営管理・経営指導を継続しましたが、目標5先に対しランクアップとなる先がありませんでした。 北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資についても実行はありませんでした。 本部職員が営業店へ臨店し、職員のスキルアップ向上に努めました。
(3) 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> 各種関連セミナーの参加及び研修会の実施等を通じ、各種再生手法の習得及び相談機能のレベルアップを図ると共に、中小企業再生支援協議会の事業再生手法の活用を図る 中小企業金融円滑化法に基づく、当組合金融円滑化基本方針による相談、申し込みに対する真摯な取組で事業再生支援 取引先に対する事業再生のための再生計画策定の支援 中小企業支援ネットワーク強化事業を活用したコンサルティング機能の発揮 条件変更の申出に対する真摯な対応を行う 事業の持続可能性を見極め、適切な指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会活用による事業再生先の選定 上部団体における各種セミナーの参加 組合内研修の実施 金融円滑化法に基づく事業再生支援 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年7月 北海道経済産業省主催「中小企業支援メニュー説明会」参加 平成23年10月 北海道経済産業省主催「中小企業支援機関指導員連携研修会」参加 平成23年12月 北海道信用組合協会主催「道内中小零細企業の現状と今後の見通し」参加 平成24年3月 北海道経済産業省主催「平成24年度経済産業省等支援メニュー説明会」参加 平成24年3月 国土交通省主催「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業説明会」参加 <p>中小企業再生支援協議会の活用は行いませんでしたが、2先に対して中小企業支援ネットワーク強化事業を活用し、コンサルティング機能を発揮しました。</p> <p>コンサルティング機能の強化のため、平成23年6月組合内研修を実施しました。</p>

項 目	取 組 方 針	平成23年4月～平成24年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
(4)事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体が主催する事業承継に関するセミナー等に参加し、事業承継のノウハウの習得に努める ・ 各種勉強会を通じて職員の知識向上を図り、事業承継支援を行う ・ 中小企業支援ネットワーク強化事業を活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種セミナー等への参加 ・ 勉強会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年9月 中小企業施策別リーフレット送付 ・ 平成23年12月 中小企業庁広報冊子及びチラシ(事業承継関連、中小企業の会計)送付 ・ 平成24年3月 地域密着型金融シンポジウム参加
(5)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ABL、コベナンツファイナンスの研究(当組合の顧客の身の丈にあった手法はあるか)と資金供給 ・ 「中小企業の会計指針」適用先への資金供給の研究と実施 ・ 当組合信用格付システムに基づく資金供給の実施 ・ 経営者以外の第三者による個人連帯保証等の見直し ・ 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ABL、コベナンツファイナンス、「中小企業の会計指針」、信用格付システムの研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度流動資産担保融資の取扱いはありませんでした。
(6)「目利き機能」の発揮に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信教育、検定試験及び参考資料等による知識習得の他、組合内研修や外部研修の実施による財務分析能力やコンサルティング能力の習得により、目利き能力を向上させ、スキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料等の活用により知識習得を図る ・ 業界団体が主催する研修の受講を進める ・ 銀行業務検定試験の取得を進める(年3回実施) ・ 中小企業支援スキルの基礎及びその向上を目的とする通信講座を受講 ・ 組合内研修等により、職員のスキルアップを図る ・ 審査管理部による営業店職員のOJT(審査業務)の実施 ・ 信用格付システムの活用・推進を通じて、事業価値評価のスキルアップを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度北海道信用保証協会主催の研修への参加(35名)、銀行業務検定試験の受験(年3回、受験者数159名、うち合格者数78名)、参考資料の提供等の実施で知識習得によるスキルアップ向上に努めました。

項 目	取 組 方 針	平成23年4月～平成24年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
2. 地域の面的再生への積極的な参画			
(1) 成長分野の育成や産業集積による高付加価値化などの地域の面的再生に向けた取組への積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に取組み諸団体への参画を行う 地方公共団体や地域活性化に関するプロジェクト等の地域情報の収集と分析 中小企業支援ネットワーク強化事業を活用し、外部専門家と連携を行い、専門的な経営課題に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所、地公体を通じ地域の活性化に取組む諸団体への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 各種地域行事に参加 平成23年7月 北海道経済産業省主催「中小企業支援メニュー説明会」参加 平成23年10月 北海道経済産業省主催「中小企業支援機関指導員連携研修会」参加 平成24年3月 北海道経済産業省主催「平成24年度経済産業省等支援メニュー説明会」参加
3. 地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信			
(1) 顧客・組合員の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)	<ul style="list-style-type: none"> 接遇・マナーの質の向上を図る 利用者満足度アンケートを実施し、営業施策に反映する 	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体が主催する研修の受講を進める 組合内研修等により、接遇・マナーの質の向上を図る 利用者満足度アンケートの実施 利用者満足度アンケート結果に基づく営業施策の実施(ATMの機能強化・接遇の改善・広告媒体の充実化) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度北海道信用組合協会主催の研修に参加(35名)、また、接遇については、平成23年9月に当組合職員によるフォローアップ研修及び外部講師を招いた接遇研修を実施しました(42名参加)。 平成22年度に実施した「顧客満足度アンケート調査」結果に基づき、「ATMの機能強化」、「接遇の改善」、「広告媒体の充実化」を改善項目に挙げ、取り組みいたしました。
(2) 地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の目線に立った分かりやすい情報開示に努めるとともに、開示内容の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌の充実を図る ホームページの充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域密着型金融推進計画」(平成22年度)の推進結果についてホームページにて公表いたしました。 事業決算のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表いたしました。 半期のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表し、併せて地域貢献等についてもディスクロ誌及びホームページにて公表いたしました。

Ⅱ－2. 経営改善支援等に関する取組み実績(平成23年4月～24年3月の状況)

項 目	目 標	実 績	備 考
経営改善支援への取組み	20先	20先	
経営改善支援取組先のうち 債務者区分のランクアップ先数	5先	0先	
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資 (動産・債権譲渡担保融資) 「流動資産担保融資保証制度」の活用	—	0件	
創業・新事業支援融資実績	—	0先	

Ⅱ－3. 経営改善支援実績表

期初債務者数 A					経営改善支援 取組率	ランク アップ率	再生計 画策定 率
うち経営改善支援取組先 α							
	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ				
4,488	20	0	18	20	0.4%	0%	100%

- (注) 1. 期初債務者数は平成23年4月当初の債務者数です。
2. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
3. 「α(アルファ)のうち期末に債務者区分がランクアップした先数β(ベータ)」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαには含みませんがβには含んでおりません。
4. 「αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先γ(ガンマ)」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
5. 「αのうち再生計画を策定した先数δ(デルタ)」は、αのうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当信組独自の再生計画策定先の合計先数です。
6. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。